



結

yui

2015. 9. 20 No.65

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005

つくば市天久保 1-10-12 1-401

TEL 080-5888-7824

Fax 029-856-2286



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>



7月18日午後1時、「アベ政治を許さない」ポスターを掲げる行動を行ないました！

作家の澤地久枝さんが呼びかけられた行動、「憲法9条の会つくば」でもこの行動に連帯し、つくば市中央公園で行ないました。当日はドンヨリとした曇り空。時々雨も降ってきます。が、永田町で暴走しているアベ政治をなんとかしてもくい止めようと、熱い思いで集った40名。池をバックに一列に並んで大声でコール。「戦争反対」「安倍政権はいますぐやめろ」一人の声は小さいけれど、みんなで声をあげれば国会に届く。一人の願いはささやかだけれど、みんなの願いが集れば政治は動く。そんな実感を共にしながら、私たちのコールは高らかに響き、厚かった雲の合間から太陽も照りました。日本国憲法が高らかに謳う平和への希求を強く願い、私たちは戦争法案が廃案になるまで行動を続けます！（S）

女性の平和レッドアクション in 県南



全国的に今、レッドアクション「女の平和」が注目です。もともとは、北欧・アイスランドが発祥で、70年代女性たちが地位向上を求めて赤いストッキングをはいた運動がモデルです。そして2015年の日本、横湯園子さん（中央大学名誉教授）らが、全国の女性が安倍政権に「戦争ノー」を示そうと呼びかけたのです。暴走、ルール違反の安倍政権にレッドカードを突き付けようとレッドアクションはまたたく間に全国に広がりました。

此処つくばでも7月26日、中央公園で行ないました。女性は勿論、男性も子どもたちも、思い思いの「赤」を身につけて集合。真っ赤な太陽よりも熱い長田満江さんの開会挨拶を皮切りに、女性市会議員の皆さん、弁護士、保育関係、農業関係など現場から切実な意見を述べました。

「戦争反対」「9条守れ」つくばから発信した平和への願いを込めたレッドアクションは真っ青な真夏の空にそれはそれはよく似合っていました！（T）

もう、無関心ではられない。ノンポリではいられへんのよ！！

わたしには27歳と24歳の子どもがいます。わたしは親子が、ともに同じ空間同じ時間を共有すること、子どもが、子どもとして、子どもの時間を思い切り過ごせるように、大人が社会全体でそのことを保証する責任があると思っています。国連子どもの権利条約第31条には、子どもが文化芸術に触れ、余暇やレジャーを楽しみ、遊び、休息をする権利を大人が保障するように言っています。31条ジェネラルコメントには、文化芸術に触れることで、何のために生まれて、何をして生きるか、自分と社会の関係を考えられるようになると書かれています。

広く世界をみると、戦争や貧困など様々な理由で、遊びや文化に触れ、体を休める権利を奪われている子どもが大勢います。今、現在、戦争をしていない日本であっても、子どもの貧困率は高く、さらに原発事故の影響で外で遊ぶ機会を奪われている子どもたちがいます。そして、子どもたちの権利を今以上に無視するような政策を、憲法の定めをないがしろにして押し進める政府に、わたしは憤っています。

今日生まれた赤ちゃんが、明日生まれる赤ちゃんが、わたしや、うちの子どもたちのように、遊びや豊かな文化に触れる中で、戦後100年の日が迎えられるように。間に合ううちに、本当の真の積極的平和主義の国にしていくために、大人の責任をどうにか果たさなければと思います。みなさん、がんばりましょう！（F.I）

## 安全保障関連法案の強行採決に抗議し、廃案を求めます

政府与党は、7月15日の衆議院特別委員会での安全保障関連法案の強行採決に続き、翌16日には衆議院本会議で野党議員退席の中、同法案を強行採決しました。多くの国民の疑問や反対の声に耳を傾けることなく採決を強行した与党の姿勢は、国民主権を否定し議会制民主主義を蹂躪するものです。

安全保障関連法案の内容には根本的な問題があります。国会審議を重ねるたびに法案の矛盾や疑問が噴出し、多くの憲法学者や元内閣法制局長官らに「憲法違反」と指摘されています。そもそも憲法尊重と擁護義務を負う国会議員が憲法違反の法律を可決すること自体が立憲主義にもとる行為であり断じて許すことはできません。

また、この間の新聞社やマスコミ各社の世論調査では、法案反対が賛成を上回り今国会での採決に反対する声が増しに高まっています。国民の反対の声を無視し、憲法違反の法律を強行採決した行為は憲法が保障する国民主権を根底からくつがえすものです。

憲法9条の会つくばでは、この法案の内容が明らかになった時点から「戦争できる国づくり反対」をかかげ、集会、毎週の駅頭宣伝行動、地域へのビラ配布、国会抗議行動への参加呼びかけなどの多彩な行動を提起、実行してきました。今後も安倍政権の暴走を許さず、法案の廃案を求めて県内、全国の行動と連帯し奮闘する決意です。

「平和・いのち・人権」を何より大切にされるみなさん、法案反対の声をさらに広げ、廃案を求める行動に参加されることを呼びかけます。

2015年 7月26日 憲法9条の会つくば世話人一同

### 8月30日 12万人が国会に集結

私たちは10万人行動が始まる前に行なわれた、息子たちの通った自由の森学園中学高校の生徒有志の呼びかけた Sing For Peace 大合唱に参加しました。国会正門前の会場に川崎に住む息子も合流し、「ヒロシマの有る国で」「民衆の歌が聞こえるか」「青空」などの合唱に参加し、生徒たちの感性に訴えるスピーチを聞きました。ここには生徒やOB、父母など約300人が参加しました。長男は「自森の合唱はすばらしかった」と言っていました。

この日、国会周辺は混むことが予想されたので、12時前には国会正門前に着きました。合唱の後、わが家はそれぞれの所属する団体に分かれて2時からの集会に参加しました。私は国会議員会館前、連れ合いと娘、息子は憲政記念館前、川崎から参加した息子は議事堂正門前です。図書館前は森村誠一氏が目の前を通り、坂本龍一氏がスピーチが終わってから近くで車に乗ったそうです。SEALDsなどの若者が多く、とても元気の出る集会でした。(児玉正文)



### 若者の力が未来を拓く

娘の活動する関西 SEALDsの様子をお伝えします。今の政権に疑問を感じた若者が集り、個人の自主性を重視し、無理やり統一したスローガンは掲げず、あえて代表も作らず活動しています。非暴力・知性を重んじ、とことん議論し、週一回の街宣やデモでは、一人ひとりの自分の言葉でのスピーチにこだわっています。ネットで攻撃されたり、友人に避けられたり、就職活動に不安を感じたりしながら彼らが頑張っている理由は、なりたい自分・やりたい仕事を実現させるためには今頑張るしかない、望まない社会で自分を捻じ曲げて生きたくはない、といった現実的な危機感からでしょう。我々年長者は、彼らにもさらに若い世代にも責任があります。ともに頑張りましょう。(S.H)



## 武力ではなく平和憲法を掲げて！

8月より、ODAによる技術協力のためバングラデシュに赴任しました。バングラデシュの人々は皆、本当に親日的です。口々に、バングラデシュの発展のために真剣に働いているNGOやODA関係者の姿に敬服すると話してくれます。安保法案強行採決は、平和憲法を掲げ、こうした人々の献身的な働きによって勝ち得てきた大切な信頼関係を自ら投げ捨てる行為です。軍事強国を目指す日本は世界から不信と警戒の目で見られています。国民を守るどころか危険にさらす愚かな政治を、即刻改めねばなりません。(U)

世界の国々の関係は複雑です。複数の国の方々と親しくしていること、また、50カ国、100カ国、150カ国の人々が一緒にいる場面は珍しくありません。そんな中、戦うことによってかえって敵を作り出すことをしてほしくありません。それよりも、武力以外で平和構築を目指し、他国に頼りにされるような働きを日本に探してほしいと思います。(U)

## 安保法制に反対する大学有志の会 続々結成

2015年6月安全保障関連法案に反対する学者からアピールが出され、全国の大学で有志の会がつけられています。茨城県では6月に「安全保障法制に反対する茨城大学有志の会」が、8月には筑波大学でも有志の会が発足し、4日には「安保法制について考える討論集会」も行なわれました。この流れは「学生と学者の共同行動」につながり、国会包囲行動、デモへの大きな力となっています。「100大学有志共同行動」「日弁連との共同記者会見」など多方面への共同の広がりは続いています。



9月12日つくばセンター広場で戦争NO! 安倍政権NO! つくばアクションが行なわれ、集会の参加者は300人を越えパレードへは200人が参加しました。制服向上委員会のライブは素晴らしく、協賛団体からは力強いアピールがされました。

## 戦争NO! 安倍政権NO! 9・12つくばアクション 集会&パレード

### 命を守り、民主主義を守り抜く

国会は今、戦争法案の採決に向けて、きわめて緊迫した様相を呈しています。安倍政権は、来週19日からの大型連休を前に、18日金曜日を事実上の国会会期末と見立てて、15日に中央公聴会、16日には地方公聴会を開き、形だけを整え、戦争法案の委員会及び本会議での採決を強行する構えで動いています。

いずれの世論調査をみても、いまだに国民の8割が戦争法案に関する政府の説明は不十分だといい、今国会での採決に反対の声も6割を超えています。戦争法案に反対する国民の声は、明らかに過半数に達しているのです。

憲法学者の圧倒的多数が、戦争法案は憲法違反だと声を上げていますが、政府与党は、憲法の番人は憲法学者でなく最高裁判所だと言い逃れました。しかし皆さん、最近ではその最高裁の元長官でさえ、この法案

は「違憲である」と断じました。

自衛隊の内部文書が次々と表に出て、国会で重大な問題点が指摘されていますが、まともに答弁さえできていません。要するに、アメリカと自衛隊の約束が、憲法よりも、国会よりも上に立つ、まさしくクーデターに等しい状況が生み出されようとしています。

命を大切に、基本的人権は決して手離さない、民主主義はどんなことがあっても守る、その思いを集めて、戦争法案NO! 安倍政権NO! の闘い、最後まで頑張り抜こうではありませんか。

(実行委員長・山本千秋)

### これからも戦い続ける

安保法制が採決されたとしても、国会は続いていきます。今後も衆参両委員会でも野党は安保法制への質問を続け、通常国会でもそれは続くのです。継続して問題提起をしていくことになります。

もし来年の参議院選挙で自公政権が議席を守れば、その後、大量の自衛隊派遣が行なわれる可能性があります。参院選で反対派が勝てば、周辺事態法の承認ができなくなり、その派遣は阻止できるし、一人たりとも自衛隊員を派遣できなくなります。国会の承認なしには自衛隊の派遣はできないからです。次の選挙が大事なのです。そのことを肝に銘じて、これからも戦いの継続と益々の広がり、盛り上がりをつくっていきましょう。(田村武夫さんの発言から)



## 「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどい

2015年5月19日、「九条の会茨城県連絡会」が発足しました。「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどいが11月1日(日)に企画されています。つくばでの開催、皆さまのご参加をお願い致します。

### 戦争法は、何をもたらすか!～実行委員会からの呼びかけ

平和・安全保障関連法案(多くの人は「戦争法」と言う)が成立し、日本は平和国家ではなくなった。日本を守るためではなく、米国等の戦争に自衛隊員を派遣することを決めたからである。

海外での自衛隊の活動は、同様な活動の他国軍の例からみて、死傷者が出る確率が高い。

政府は自衛隊の役割は後方支援で安全だと主張している。しかし、ゲリラ戦やテロとの戦いでは、ゲリラは前線の外国戦闘部隊と正面から戦うのではなく、食糧、水、弾薬、燃料などの輸送路や物資の集積所を攻撃して補給を断とうとする。後方支援の自衛隊員こそ危ないのである。

イラク戦争で、米軍は4,491人の死者と約32,000人の負傷者を出した。このうち戦争行為の中で生じた死者は139人、負傷者は545人である。死傷者のほとんどは、その後の「戦後処理」の過程で生じたものである。この戦後処理にも自衛隊員が派遣されることになる。

日本防衛のためではなく、他国の地域紛争に介入する米国軍支援のためだけに、自衛隊員が派遣され、戦死したり重傷を負う可能性は大きい。この結果、自衛隊員は退職者が増え入隊希望者が激減する。国は、ブラック企業で過酷な労働を強いられているような若者を集め(経済的徴兵)、事態に対処することを必ず狙う。

これが戦争法がもたらす現実である。

戦争の惨禍を防ぐには、自衛隊の戦地派兵を止めさせればよい。来夏の参議院選挙で戦争法案の廃止を目指す野党が議席の過半数を取り、国会が「自衛隊の派遣・活動計画」を承認できないように、国民が選択することだ。戦死者・殺人者を出さないため、戦争に反対し、戦争法の実施に絶えず反対の声を上げていきましょう!!

日時：2015年11月1日(日) 14:00～17:00 13:30 開場

場所：市民ホールやたべ つくば市谷田部 4711 番地

内容：小林節さん(慶應義塾大学名誉教授)

### 二見伸明さん(元公明党副委員長) 対談

参加費(資料代)：500円(大学生以下・障がい者 無料)

主催：「九条の会茨城県連絡会」創立記念のつどい実行委員会

共催：各地の総がかり行動実行委員会等へ呼びかけ中



## 憲法9条の会つくば設立10周年のつどい

今年で10周年を迎えることになった憲法9条の会つくば。10周年のつどいは、戦争の体験を次世代に継承し、戦争の被害・加害について考える場にできればと思います。皆さまのご参加お待ちしております。

日時 2015年12月12日(土) 14:00～17:00(予定)

場所 未定(10月初め決定後お知らせします)

講演

- 二見伸明さん(元公明党副委員長)  
「平和を譲らない運動について(仮題)」
- 山下廣さん、山下加代さん(日本キリスト教会・つくばひたち野伝道所)  
「日本軍が朝鮮・中国でおこなった行為を訪ねる旅に参加して(仮題)」
- 吉野年雄さん(元満蒙開拓義勇軍)  
「日本の『満蒙開拓』とは何だったのか(仮題)」

※実行委員募集中!実行委員会にご参加ください。詳細は事務局まで。



当会では原則第1日曜日に定例署名行動、9日に9の日署名を行なっています。また直接個人署名を頂いております。ご協力に感謝致します。皆さまのご参加お待ちしております。

## 「憲法9条の会つくば」の活動から



◆賛同人 2015年9月16日現在  
総数925名 (市内674名)  
◆9条署名9月16日現在15,948筆

### ランタン行動 &9の日署名

▼8月7日にはみどりの駅で、21日にはつくば駅Q't前でランタン行動を行ないました。若い世代の関心が高く、中学生、高校生から「これから日本はどうなってしまうのか、戦争になってしまうのか心配」との声が聞かれました。中学生や高校生が、日本が戦争に巻き込まれる心配をする時代になっています。子ども達に平和な未来を引き継ぐために何ができるのか大人として行動し、声をあげていきましょう。

▼8月9日は長崎の平和の鐘行動の後、アルス前で署名を行ないました。図書館利用のご家族連れや、学生さんなど現在参院で審議中の安保法案についての関心は高く様々な意見が聞けました。署名の反応も大変良く、身近な問題として広がっていると実感しました。この日は童謡シンガーのAさんも参加、時に皆で歌いながら、木陰での署名行動を楽しめました。(S)

### 平和の鐘 一振り運動

▼8月6日と9日の原爆投下時刻に合わせて鐘を鳴らす「平和の鐘一振り運動」に参加する行動は、今年も、市内栗原の北斗寺と自由が丘のめぐみ教会で行なわれました。

めぐみ教会では8月6日、共同代表の武田さんが参加し、平和の大切さ、衆議院で強行採決された安倍政権の安保法案の危険性と反対運動の盛り上がりなどについて述べ、一振り運動の提唱者の鶴文乃さんの絵本「明日が来なかった子どもたち」を朗読紹介しました。

8月9日は、信徒や賛同者約30人が集まって行なわれました。牧師の阿部起士さんが、運動の趣旨を話され、当会の三浦がお話をさせていただきました。郷里の仙台とキリスト教の関係(伊達政宗の支倉常長ローマ派遣とその後のキリシタン弾圧、明治以降のミッション系スクールの創設、敗戦後の戦争孤児の救済活動)を話し、九条の会創設呼びかけ人の井上ひさしさんもミッション系養護施設から高校に通ったことと同級生に憲法学者の樋口陽一さんがいることなどを話しました。また、当会として憲法9条を守ろうという立場の宗教者の方たちと一緒に運動していることを紹介しました。

また、アメリカが終戦間際に開発に成功した原子爆弾は、もはや日本の敗北が明らかで、使う必要のないものであったにも関わらず、戦後のソ連との対決を見越してアメリカの軍事的優位を示すために広島・長崎に投下されたもので、これはもはや戦争犯罪で日本人への最悪のプレゼントだと思う、と話しました。

日本国憲法について、世界から恐怖と欠乏など争いの

もとをなくし全世界の人々の平和的生存のために日本国民は全力をあげると誓った前文は、本当の意味での積極的平和主義を掲げており、安倍首相が言う、「積極的平和主義」とは真反対のものであること、憲法は占領軍から押しつけられたという人がいるが、西欧諸国が近代の歴史の進歩の中で作りあげた民主主義の思想をとり入れたものであること、GHQでベアテ・シロタ・ゴードンさんが両性の平等や女性の権利を憲法に盛り込むために努力したことにも触れ、憲法案はアメリカからの最良のプレゼントだったと思うと話しました。

しかし、現在では、アメリカは憲法9条が邪魔になり、日本が世界で一緒に戦争する国になることを望んでいて、安倍首相は、それに積極的に協力しようとしている。これらは、人類の理想、憲法の理念への裏切りではないかと思うと話しました。

最後に、渋谷で高校生たちが、戦争法案反対のデモをしたことに触れ、原爆投下のように政治的思惑が人を殺す時代がくることのないように、良心にしたがって声をあげていきましょうと訴えました。

礼拝の終わりに阿部牧師さんは、戦争中、キリスト教団体が「宮城礼拝」を行ったことを、戦後キリスト者は痛切に反省し、戦争に反対していますと話されました。

6日は8時15分、9日は11時2分に教会の天窗があげられ平和の鐘が空高く鳴り響きました。(三浦)

▼8月6日、9日の2日間、原爆投下の時刻に合わせて、つくば市栗原の北斗寺で鐘撞きをしました。6日は福島から保養に来ている子どもたちおよびスタッフ、つくばの9条会員とその子どもや孫でとても賑やかでした。子どもたちは15人近くいましたが、地上数メートルある鐘楼に上り、一人ひとり鐘を鳴らし、小さい手を合わせて原爆犠牲者を悼みました。福島応援プロジェクトのお坊様から全員に菩提樹の実を繋げた数珠を戴き、子どもたちは大喜びでした。9日は6日とは打って変わって大人4人の参加者でした。参加者で交替に9回鐘を撞き、犠牲者を悼み、平和な時代が続くよう祈りました。(穂積)

### 行動予定

10月4日(日)9日(金) 署名行動 12:00~アルス前  
(予定)

10日(土) 第2回川柳9条教室 13:30~16:00  
春日交流センター和室(チラシ参照)

15日(水) 事務局会議 9:30~松代交流センター(予定)

11月15日(日) 定例世話人会 10:00~「結」66号発行  
並木交流センター(予定)

## 戦時中にタイムスリップ!

戦時ポスター展 開催  
(7/14~7/19 於：市民ギャラリー)

先の戦争中、国策のもと、高名な画家たち（横山大観、藤田嗣治ら）が描いたポスター24枚を説明文とともに展示。実行委員8名、協力ボランティア22名（感謝です）、入場者数延べ535名。折しも会期中に安保法案が衆議院で強行採決され、平和への関心も高く、有名な画家たちの作品の魅力と共に、戦時の史実を観に広い層（芸術系学生、子連れママも）の市民の参加があった。70枚のアンケート回答の一部を紹介：「実物の大きさや当時の色彩にリアルさを感じまし



た。これらが街角に普通に貼られていた時代（父の子も時代）を想像します。」「当時の国の様子、軍部の思惑を感じることができた。」「戦時中に戻った現実感で怖ささえ覚えました。」「なんとなくいつの間にか戦争になっていたという悲しいことにならないようにしたい。35歳」「私は中国人です。戦争の怖さを若者に宣伝してほしい。今の中国人は戦争の恐怖をあまり知りません。」「若者の無関心を嘆く前に、大半の高齢者の無関心を呼び覚ますべき、高齢者には責任がある。74歳」「祖母から聞いた戦争は二度と起こしてはならないと思います。安保が可決され今後日本が戦争に加わることにしないことを強く願います。25歳」「私は戦争を知りませんが、当時の状況や当時の人々の気持ちを理解し、平和を保つために何ができるか、一人の国民として考えていきたいと今回の展示で思いました。27歳」—そして敗戦「私はある事実深く心を打たれていた。悲しみと苦しみのただ中にありながら、なんと多くの日本人が『平和』と『民主主義』の理想を真剣に考えていたことか!」「敗北を抱きしめて」よりジョン・タワー。（実行委員 森）

## 「9条つくば」は今年で10周年

戦争体験を次世代に語り継ぐ冊子の編集がすすんでいます



「結」紙上でお知らせしてありますが、戦後70年・憲法9条の会つくば創立10周年の今年、戦争体験を若い世代に語り継ぐ冊子をつくることとしています。戦争の時代を経験された方がたが、これまで「結」のコラム「平和を想う・戦争を想う」に文を書かれた方を中心に、現在20人ぐらいの方から原稿が寄せられています。編集担当として、それぞれの戦争体験をつなぐ

ものとして、70年前に終わったあの戦争は何だったのだろうか、私たちは歴史的教訓として何を学ばなければならないのだろうか、などを考える記事も掲載していく予定です。

体裁はA5版とし、販売品とする予定です。11月初めまでに完成させ、各種のイベントなどに活用していく考えです。賛同人の皆様のご支援ご協力をお願い致します。

## インフォメーション

## ◇9.23 さようなら原発 さようなら戦争 全国集会

日時：9月23日（水）13:30～集会 15:15～デモ（渋谷コース・原宿コース）

場所：代々木公園B地区・けやき並木

主催：「さようなら原発」一千万署名 市民の会

## ◇戦争法案反対国会前集会（毎週木曜日連続行動19回目）

日時：9月24日（木）18:30～

場所：衆議院第二議員会館前

主催：戦争させない9条壊すな！総がかり行動実行委員会

## ◇憲法9条牛久の会・9周年記念のつどい

「戦争させない！9条壊すな 戦後70年と日本国憲法」

日時：9月26日（土）13:30～16:00（13:00開場）

場所：エスカードホール（JR牛久駅西口イズミヤ4階）

内容：①ロシヤの歌とピアノ②講演：戦後70年と日本国憲法—世界史の中の憲法とその未来—講師：宮地正人（東京大学名誉教授、国立歴史民俗博物館元館長）

資料代：800円（学生・障がい者無料）

連絡先：憲法9条牛久の会 029-872-2707

## ◇戦時下の現在を考える講座

日時：9月27日（日）14:00～16:00頃

場所：つくば市立春日交流センター 小会議室

資料・室代：300円

テキスト：古関彰一『憲法九条はなぜ制定されたか』（岩波ブックレット、2006年）（サブテキスト：同『平和憲法の深層』（ちくま新書、2015年））未読OK

主催：戦時下の現在を考える講座

問合せ：TEL090-3902-5801 藤田TEL080-5459-9576 鈴木

## ◇うたごえ喫茶 vol.5

日時：10月3日（土）開場13:30 14:00～16:30

場所：ホテル・レイクサイドつくば 紫峰の間

内容：新宿ともしび「出前歌声喫茶」

参加費：1500円（当日100円増）小学生以下無料

連絡先：TEL029-876-1039（伊藤）TEL029-876-4084（軽部）

## ◇「九条の会茨城県連絡会」設立記念のつどい

日時：11月1日（日）14:00～17:00 13:30開場

場所：市民ホールやたべ（つくば市谷田部4711番地）

内容：小林節さん（慶應義塾大学名誉教授）二見伸明さん（元公明党副委員長）対談

主催：九条の会茨城県連絡会創立記念のつどい実行委員会

連絡先：長田（029-854-2286/つくば）